

## 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

CT 検査における画像再構成法と金属アーチファクト低減機構（MAR）の併用が、金属アーチファクト低減効果に及ぼす影響

～両側人工股関節置換術患者（total hip arthroplasty：THA）の骨盤内組織の評価～

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2023 年 4 月 1 日～2023 年 12 月 31 日に昭和大学横浜市北部病院で骨盤部 CT 検査を受けられた患者さん

### 2. 研究目的・方法

THA 患者の骨盤内組織評価を目的とした CT 検査の依頼があります。CT 検査では、THA のような金属を撮影する際、障害陰影（アーチファクト）が発生します。特に両側 THA 患者の場合、金属アーチファクトの影響により骨盤内組織の評価が困難になるため、金属アーチファクト低減機構（metal artifact reduction：MAR）を使用しています。当院の CT 装置では様々な画像再構成法を選択することができ、MAR と併用することが出来ます。現在、逐次近似応用再構成法と MAR を併用していますが、その他の再構成法と MAR を併用した場合の画像評価は行っておりません。そこで、それぞれの画像再構成法と MAR の組み合わせが、金属アーチファクトの低減にどのような影響を及ぼすか評価します。

### 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 12 月 31 日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：骨盤部 CT 検査の各画像データ、被ばく線量レポート、性別、BMI（身長、体重）

### 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

### 6. 研究組織

研究責任者      研究機関名   昭和大学横浜市北部病院      氏名   田鎖想也

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 放射線技術部          氏名：田鎖 想也

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7145